

# 第7章

## 目標管理とフォローアップ

## 第7章 目標管理とフォローアップ

この水道マスタープランは、決して完成品ではなく、施策目標達成のために生き物のように姿や形を変えながら、次から次へと進化していくような、職員共通のツールにしたいと考えています。

水道マスタープランの策定においては、お客さまと上下水道局が協働した水道づくりの視点に立ち、パブリックコメントを通してより幅広いお客さまの意見をいただきます。

そのため、水道マスタープランの推進にあたっては、施策目標に従い各施策の具体的な目標を設定した実施計画を策定し、進行管理を行い施策目標の着実な実現をめざします。

### (1) 目標の進行管理

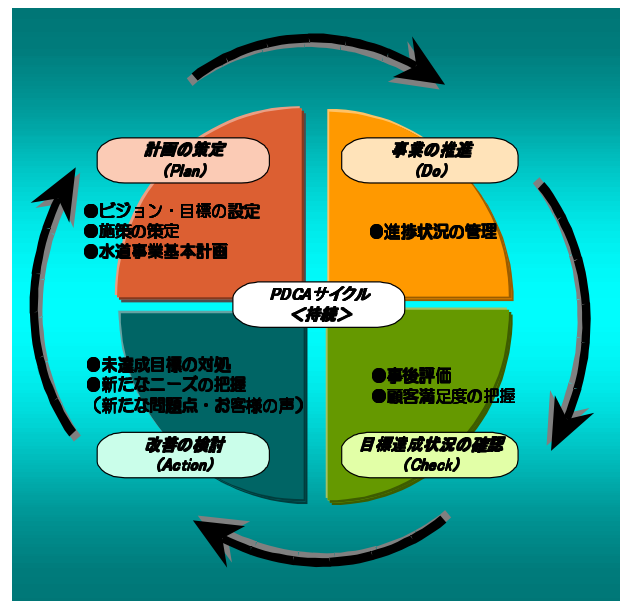
「宝塚市水道マスタープラン」の施策を実施するにあたっては、実績評価と財政的な検討を加えた実施計画に基づき、毎年度の詳細な計画を立案し、効果的で着実な進行管理に努めます。また、定期的に進捗状況を確認することが必要であり、特に、計画値と実績値に差が生じている場合には、事業の推進に障害となる問題が発生している可能性もあり、その理由を把握し、また、国の動向と下水道事業、都市計画事業など他の計画との関連を把握し、フォローアップしながら実施計画との整合を図り目標管理に努めます。

さらに、目標管理と併せて事業の成果や効果を把握しておくことが重要であり、「水道事業ガイドライン」の業務指標(PI)などを活用して評価を行なうとともに、水道局ホームページで評価結果を公表します。

### (2) 施策目標の見直し

「宝塚市水道マスタープラン」は、平成19年度から平成27年度までを施策目標の計画期間としています。しかし、施策目標の基礎となる水需要については、目標計画策定時点で想定される要因を考慮して予測しましたが、今後の社会情勢によって変化する可能性もあります。

今後も、事業進捗に影響を及ぼすような様々な要因も考えられることから、目標計画期間内においても適時施策目標の見直しを行います。



【事業のPDCAサイクル】

施策目標の見直しは、計画の策定（Plan）、事業の進捗管理（Do）、目標達成状況の確認（Check）、改善の検討（Action）の考え方に基づき、毎年度目標値の達成状況を把握します。また、目標達成状況はホームページ等により公表するとともに、上下水道事業審議会やお客様の意見を聞きながら事業成果の検証を行い、改善の必要な事業を見直しながら“心豊かに健やかな生活をささえる”「安全で安心でき、安定した水道の供給」を目指してまいります。